

「低炭素社会に向けたアプローチ」  
創エネ・省エネ型商品製造企業の観点から

2008年9月9日  
シャープ株式会社

執行役員 環境安全本部長 森本 弘

SHARP

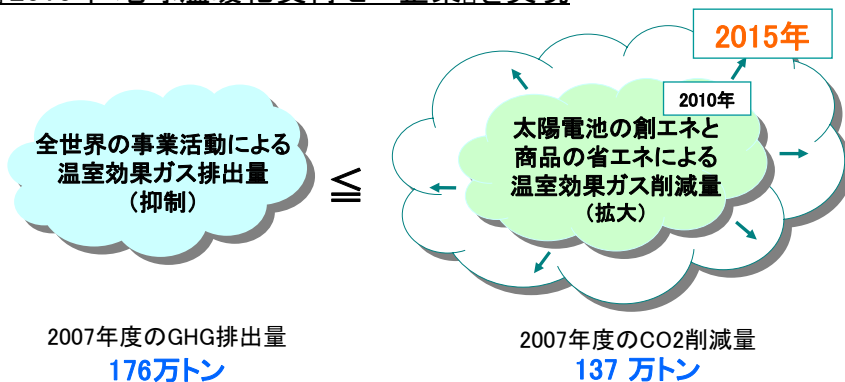
事業拡大と環境保全を両立する企業

1

▶シャープがめざす環境先進企業

- ① 事業拡大と環境保全を両立する企業
- ② モノづくりを通じた社会貢献が評価される企業

▶『2010年 地球温暖化負荷ゼロ企業』を実現



SHARP

## スーパーグリーンファクトリー-(SGF)

2

### ▶ 環境配慮型工場を目指した全社取り組み

- 1999年度から  
グリーンファクトリーコンセプトを導入して工場のグリーン化に着手。
- 2003年度から  
評価基準を設けて社内認定を開始。
- 2007年度は、  
全世界の39の生産工場をグリーンファクトリー以上に認定。
- 2008年度より、  
日本国内の事業所を対象に新たにSGF II の取り組みを開始。

SGF II の狙い→ 既存工場におけるCO<sub>2</sub>・廃棄物総排出量を、07年度をピークとして08年度以降、減少に転じさせる。

SHARP

## スーパーグリーンファクトリー

3

### ▶ 亀山工場の取り組み

温室効果ガスの  
排出削減

用水使用量の  
削減

産業廃棄物の  
適正処理

工場全体の総使用電力の1/3を確保

太陽電池  
発電システム

コ・ジェネレーション  
システム

燃料電池システム

世界最大級\*

国内最大級

国内最大級

工程排水  
リサイクルシステム

100%リサイクル

高効率  
瞬停対策装置

世界最大級

SHARP

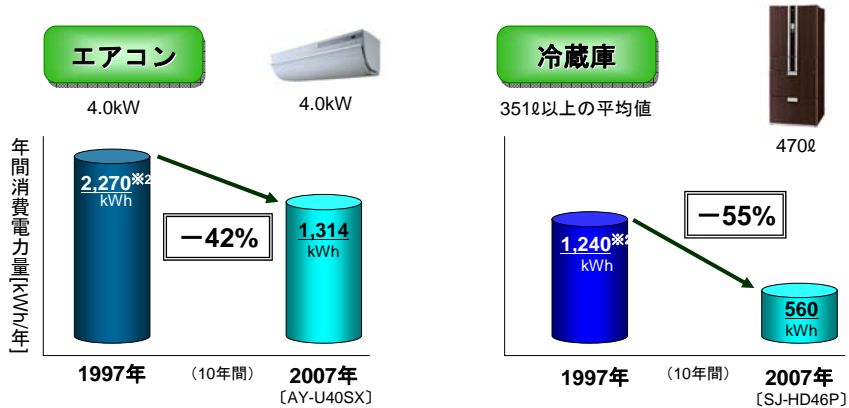
※建物設置として

## 省エネルギーの実現

4

### ▶電化製品における省エネ性能の向上

『家庭での電力消費量のうち、エアコンと冷蔵庫で41.3%※1』



\*1出所:平成16年度電力需給の概要(平成15年度推定実績、資源エネルギー庁)。  
内訳はエアコン25.2%、冷蔵庫16.1%。

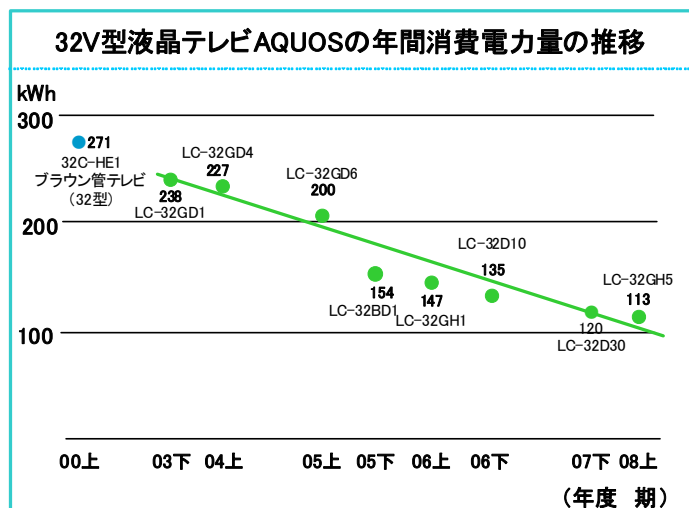
\*2省エネ性能カタログ1997年度版を基に各製品の当社平均値を算出。

SHARP

## 液晶テレビの省エネ

5

### ▶進化する液晶テレビAQUOS先進の環境性能




SHARP

## グリーン・エネルギー・マーク

6

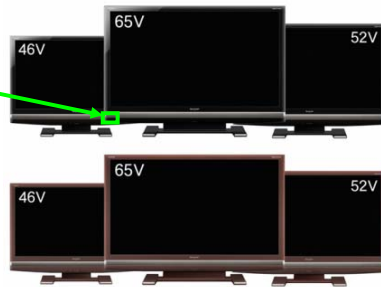
▶太陽光発電由来のグリーン電力を使って液晶テレビアクオスを組み立て

日本モデルの液晶テレビAQUOS Rシリーズ(6機種)※に  
「グリーン・エネルギー・マーク 」を採用(製品上へのシール貼付は秋以降順次実施)。



組み立てに必要な電力の10%を  
ソーラーのグリーン電力で賄っています

グリーン・エネルギー・ラベル(イメージ)



AQUOS Rシリーズ

※採用機種: LC-65RX5-B/T, LC-52RX5-B/T, LC-46RX5-B/Tの2色6機種

## 40年以上の信頼と実績。シャープの太陽電池

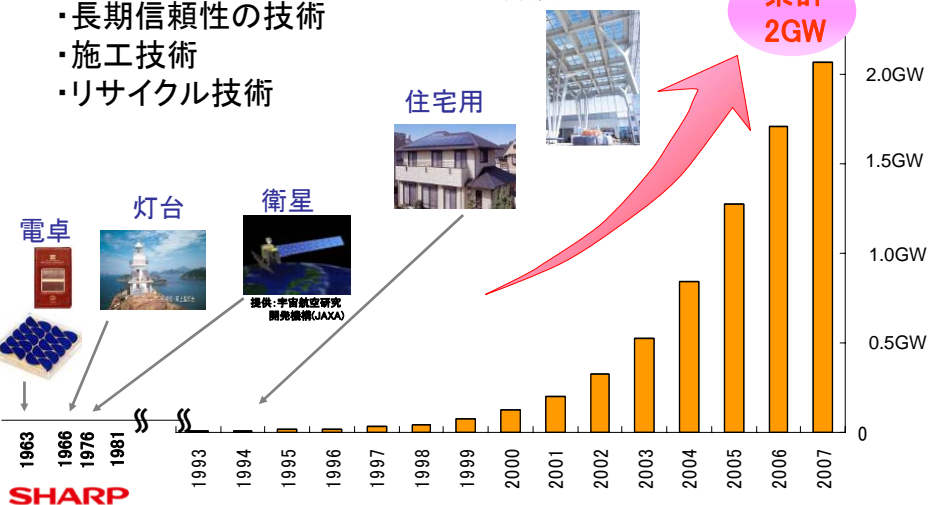
9

- ・光劣化に対する技術
- ・長期信頼性の技術
- ・施工技術
- ・リサイクル技術

薄膜シースルー

累計  
2GW

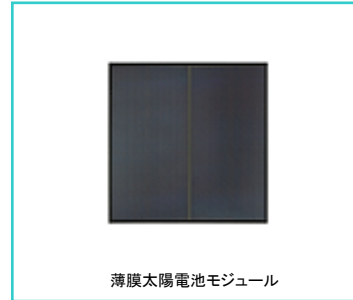
住宅用



## 薄膜太陽電池の生産拡大

8

▶グローバルで薄膜太陽電池生産能力1GWの体制づくりを目指す。

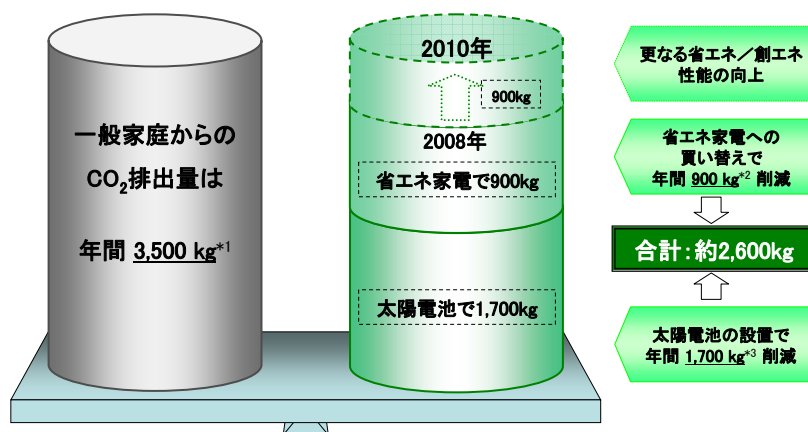


- ・シリコン使用量が結晶系の100分の1
- ・トリプル型で業界最高の変換効率 モジュール10%を実現

SHARP

## 新しい暮らし「地球温暖化負荷ゼロの暮らし」

9



\*1 『一般家庭からのCO<sub>2</sub>排出量は年間3,500kg』: 家庭部門からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量1億7,400万トン及び総世帯数4,960万世帯より算出。  
\*2 『省エネ家電への買い替えで年間900kg削減』: 10年前の当社製品との比較。エアコン(2台)、テレビ、冷蔵庫の3品目買い替え時の合計値。  
\*3 『太陽電池の設置で年間1,700kg削減』: 4.28kWシステムを設置し、年間発電電力量が4,587kWh/年の場合を想定。太陽電池による発電電力量1kWhあたりのCO<sub>2</sub>削減効果は0.425(2005年度電気事業連合会公表値) - 0.0455(太陽電池生産時の排出量) [kg-CO<sub>2</sub>/kWh]を想定。

- ・地球環境問題が深刻化するなか、企業の積極的な環境保全への貢献が求められています。
- ・太陽光発電の普及拡大と省エネ製品の開発、工場  
の環境負荷低減により、「持続可能なモノづくり」の  
体制を構築し、「低炭素社会」の実現に貢献して  
参ります。

**SHARP**